

製品名: インテグリン β 3 / CD61 (6R14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12662**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は $+4^{\circ}\text{C}$ 、長期保存は -20°C で保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, FC 1:20-1:50, IP 1:20-1:50
分子量	87kDa

抗原情報

遺伝子名	ITGB3 BDPLT16; BDPLT2; CD61; GP3A; GPIIIa; HPA 1; HPA 4; Integrin beta 3 (platelet glycoprotein
別名	IIIa antigen CD61); Integrin beta chain beta 3; Integrin beta-3; ITGB3; NAIT; Platelet fibrinogen receptor beta subunit; Platelet glycoprotein IIIa; PTP;
遺伝子 ID	3690.0
SwissProt ID	P05106
免疫原	ヒトインテグリン β 3 の合成ペプチド

背景

脳において、シナプス伝達と可塑性に関与する。セロトニン神経伝達の調節に関与し、シナプス内の特定の部位へのセロトニン受容体 SLC6A4 の局在と、セロトニンの適切な再取り込みに必要である。GRIA2 含有 AMPAR のエンドサイトーシスを調節することで興奮性シナプス強度を制御し、AMPA の存在量と組成に影響を与える（相同性による）。インテグリン α -V/ β -3 (ITGAV:ITGB3) は、サイトタクチン、フィブロネクチン、ラミニン、マトリックスメタロプロテアーゼ-2、オステオポンチン、オステオモジュリン、プロトロンビン、トロンボスポンジン、ビトロネクチン、フォン・ヴィレブランド因子の受容体である。インテグリン α -IIb/ β -3 (ITGA2B:ITGB3) は、フィブロネクチン、フィブリノーゲン、プラスミノゲン、プロトロンビン、トロンボスポンジン、ビトロネクチンの受容体です。インテグリン α -IIb/ β -3 と α -V/ β -3 は、幅広いリガンドの R-G-D 配列を認識します。インテグリン α -IIb/ β -3 は、フィブリノーゲン γ 鎖の H-H-L-G-G-A-K-Q-A-G-D-V 配列を認識します。活性化後、インテグリン α -IIb/ β -3 は可溶性フィブリノーゲンとの結合を介して血小板間相互作用を引き起こします。このステップは、破裂した内皮表面を物理的に塞ぐ急速な血小板凝集につながります。フィブリノーゲンの結合は、活性化血小板における SELP 発現を促進します（相同性による）。ITGAV:ITGB3 はフラクタルカイン (CX3CL1) に結合し、CX3CR1 依存性フラクタルカインシグナル伝達における共受容体として機能します (PubMed:23125415、PubMed:24789099)。ITGAV:ITGB3 は NRG1 (EGF ドメインを介して) に結合し、この結合は NRG1-ERBB シグナル伝達に不可欠です (PubMed:20682778)。ITGAV:ITGB3 は FGF1 に結合し、この結合は FGF1 シグナル伝達に不可欠です (PubMed:18441324)。ITGAV:ITGB3 は FGF2 に結合し、この結合は FGF2 シグナル伝達に不可欠です (PubMed:28302677)。ITGAV:ITGB3 は IGF1 に結合し、この結合は IGF1 シグナル伝達に不可欠です (PubMed:19578119)。ITGAV:ITGB3 は IGF2 に結合し、この結合は IGF2 シグナル伝達に必須である (PubMed:28873464)。ITGAV:ITGB3 は IL1B に結合し、この結合は IL1B シグナル伝達に必須である (PubMed:29030430)。ITGAV:ITGB3 は、典型的なリガンド結合部位 (部位 1) とは異なる部位 (部位 2) を介して PLA2G2A に結合し、これによりインテグリンの構造変化が誘導され、部位 1 へのリガンド結合が促進される (PubMed:18635536、PubMed:25398877)。ITGAV:ITGB3 はフィブリリン 1 (FBN1) の受容体として機能し、R-G-D 依存性の FBN1 への細胞接着を媒介する (PubMed:12807887)。脳では、シナプス伝達と可塑性に関与する。セロトニン神経伝達の調節に関与し、セロトニン受容体 SLC6A4 をシナプス内の特定の部位に局在させ、セロトニンの適切な再取り込みに必要である。GRIA2 含有 AMPAR のエンドサイトーシスを調節することで興奮性シナプス強度を制御し、AMPA の存在量と組成に影響を与える（類似性による）。ITGAV:ITGB3 は CD40LG の受容体として作用する (PubMed:31331973)。

研究分野

タグとセルマーカー

画像データ

U-87 MG 細胞溶解物中のインテグリン ベータ 3 / CD61 発現のウエスタン ブロット分析

